



# 低（脱）炭素・資源循環型社会構築のための無機環境材料の材料設計・開発

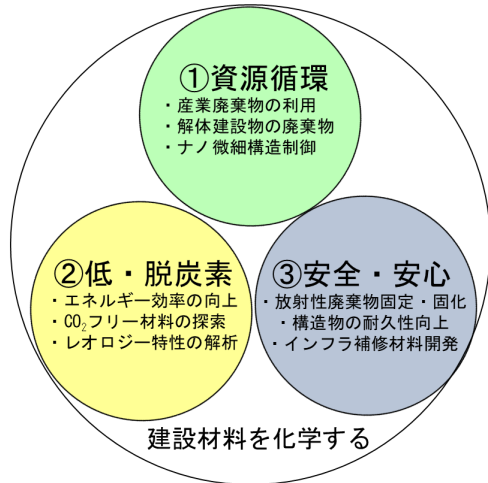
総合理工学部 准教授 新 大軌（あたらし だいき）

無機材料物性工学2（社会環境材料分野）研究室は、世の中のニーズに合わせた建設材料（とくにセメント）の研究を行っています。この研究室では、多くの企業と合同研究を行うことによって現代社会で問題となっている課題解決に挑戦しています。

とくに、2022年からは、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の「革新的カーボンネガティブコンクリートの材料・施工技術及び品質評価技術の開発」のテーマで、CO<sub>2</sub>を吸収・固定するセメント系材料の開発、解体コンクリートから製造されるセメント微粉へCO<sub>2</sub>を高効率に吸収・固定させる技術およびCO<sub>2</sub>固定量の定量方法の開発に関する研究を通じて、高いレベルで汎用性のあるカーボンネガティブコンクリートを実現及び施工技術の開発、品質評価技術の確立を進めています。

こうした研究によって、持続可能な社会の実現に必要な技術開発の推進に貢献しています。

化学による持続可能な社会の実現(SDGs)



研究室紹介動画 YouTube



その1



その2



その3

SDGsの達成、脱炭素社会の構築に無機材料工学の立場から貢献できる人材を育成する